

■位置図

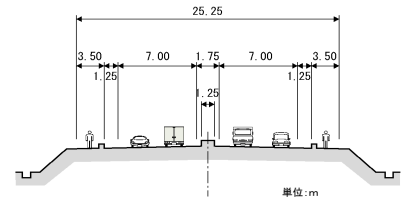


■中勢バイパス (鈴鹿(安塚)工区)

拡大図



事業名	一般国道23号 中勢バイパス
区間	起) 三重県鈴鹿市北玉垣町 終) 三重県松阪市小津町
延長	33.8km
道路規格	第3種第1級
車線数	4車線(暫定2車線)
設計速度	80km/h(暫定60km/h)



■工事進捗状況写真



三重県の持続可能な経済ネットワークを確保

期待される 交通環境の改善 ①

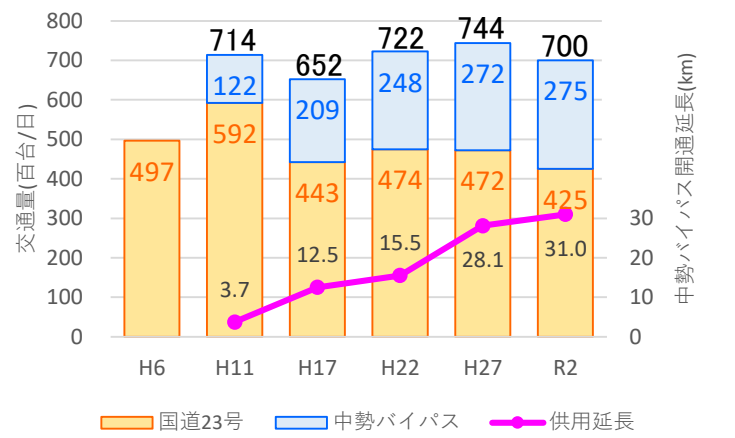
○H5年度からの中勢バイパスの段階的な供用にとともない、国道23号から中勢バイパスへの交通転換が進んだことで、国道23号の所要時間の短縮、交通事故の減少などの交通環境の改善がみられます。一方で、通過交通の約8割が国道23号を利用しているため、全線開通により、中勢バイパスへのさらなる交通転換が期待されます。



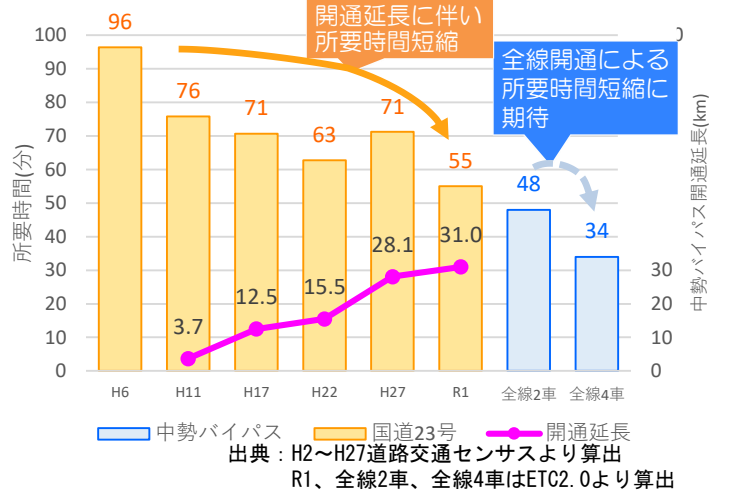
①通過交通の利用分担



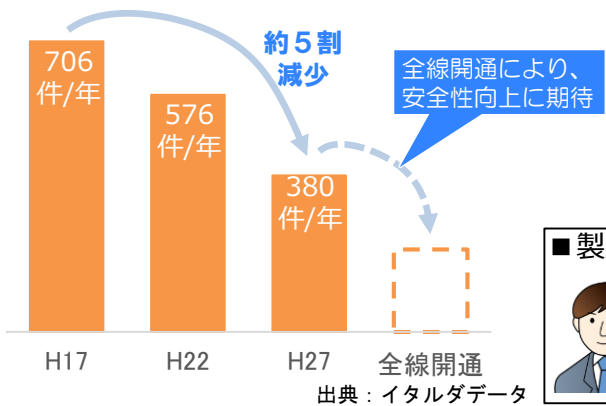
②交通量の推移



<国道23号の所要時間の推移と中勢バイパスの所要時間予測>



<国道23号 現道の死傷事故件数の推移>



■製造業者の声

部分開通で、中勢バイパスと並行する国道23号の渋滞が緩和された。中勢バイパス全線開通による道路面の機能向上に期待する。

出典：ヒアリング調査

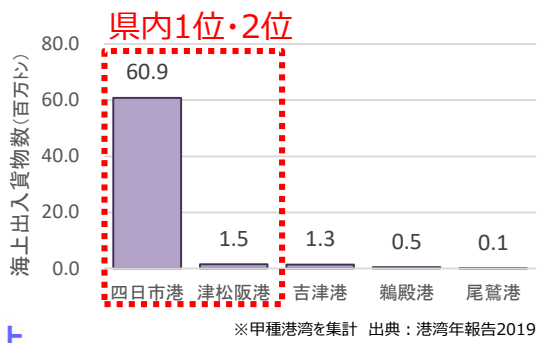
三重県の持続可能な経済ネットワークを確保

期待される 開通効果②

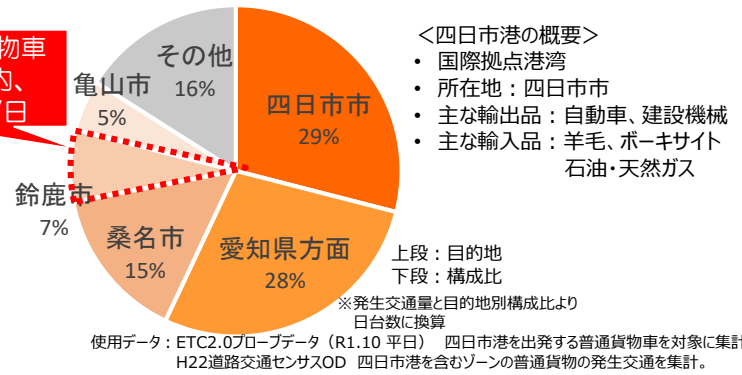
中勢地域の産業支援：円滑な物流の確保

- 国際拠点港湾の四日市港と鈴鹿市内を結ぶ物流の輸送経路は、主に国道23号及び中勢バイパスが担っています。
- また、中南勢地域の流通拠点である重要港湾の津松阪港から北勢方面、愛知県方面への一般道の物流輸送経路についても主に国道23号及び中勢バイパスが担っています。
- 中勢バイパスの全線開通により、国道23号と中勢バイパスが連結し一体として機能することで、輸送経路の速達性、時間信頼性の向上により、物流ネットワークの強化、円滑な物流交通の確保が期待されます。

■ 三重県内主要港湾の取扱貨物量

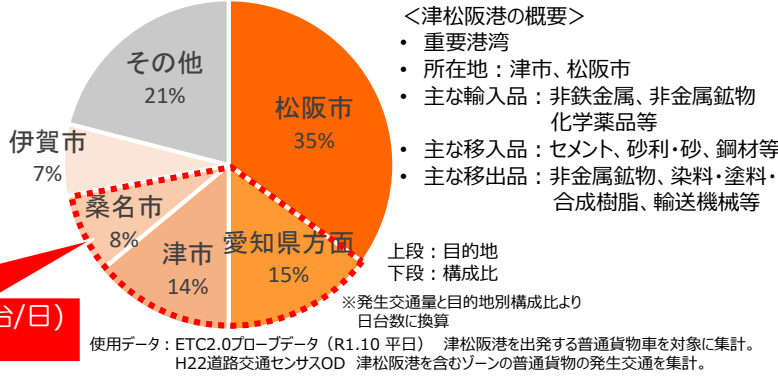


■ 四日市港発の普通貨物車の目的地



- <四日市港の概要>
- ・国際拠点港湾
 - ・所在地：四日市市
 - ・主な輸出品：自動車、建設機械
 - ・主な輸入品：羊毛、ボーキサイト、石油・天然ガス

■ 津松阪港発の普通貨物車の目的地



- <津松阪港の概要>
- ・重要港湾
 - ・所在地：津市、松阪市
 - ・主な輸入品：非鉄金属、非金属鉱物、化学薬品等
 - ・主な移入品：セメント、砂利・砂、鋼材等
 - ・主な移出品：非金属鉱物、染料・塗料・合成樹脂、輸送機械等

津松阪港発の普通貨物車（約1,500台/日）の内、愛知・北勢方面に約500台/日

- 物流事業者の声
中勢バイパスが全線開通すれば、広域移動の際のルートとして、国道23号から中勢バイパスへの転換が考えられます。また、配送時間短縮で物流の効率化や定時制の確保に期待します。
 - 製造業者の声
中勢バイパス全線開通により、メインの物流ルートが、中勢バイパス経由になります。
- 出典：ヒアリング調査

救えない「いのち」を減らす

期待される
開通効果

災害に強い道路機能の確保

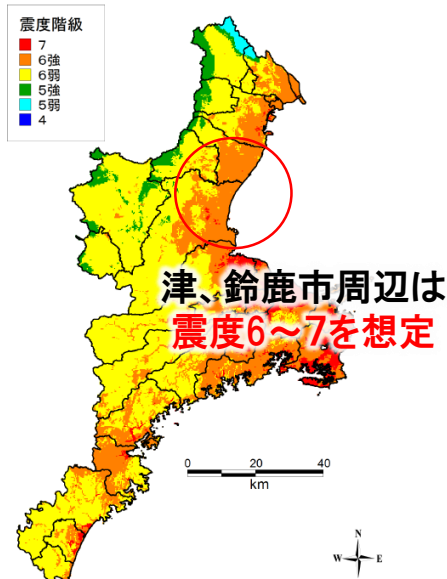
○緊急輸送道路に指定されている国道23号は、三重県の沿岸部を通過していることから津波による浸水被害が懸念される。

○中勢バイパスは、浸水エリアを回避した内陸部に位置することから、内陸部から沿岸部への“くしの歯”による応急復旧活動等を支援するとともに、道路ネットワークの多重性・代替性が強化されるなど災害に強い道路機能を確保します。

■ 予測津波浸水域



■ 南海トラフ巨大地震発生時の震度分布



※1 出典：三重県HP「津波浸水予測図(平成25年度地震被害想定調査)^{※2}について」

※2：南海トラフの理論上最大クラスの地震を想定した場合の浸水予測結果

※3：三重県緊急輸送道路ネットワーク(令和2年2月 三重県)

■ 自治体の声

・国道23号は津波浸水予測区域内のため、内陸を通過する中勢バイパスの早期供用が必要です。

・中勢バイパスの整備によって、国道23号との**ダブルネットワーク化**を期待しています。

・災害時の使い方としては、**災害直後の避難経路**や**救助活動の救助路**、**復旧活動の輸送路**等を想定しています。

・災害時は関係団体と連携した緊急輸送道路等の交通確保が最優先で必要。中勢バイパス全線開通により、**国や県、周辺市、自衛隊等との広域な連携強化**を期待しています。